

#### 委員名簿

学校運営協議会委員 10 名 (敬称略)

梶原 健司	神奈川総合産業高等学校 校長
森 武昭	神奈川工科大学 特命教授 (欠席)
松谷 康之	青山学院大学理工学部 教授
天野 和広	相模原市立大野南中学校 校長
今野 友行	岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校 教務部 部長
関 みどり	相模原市経済学部 雇用政策課 課長
橋元 雅敏	さがみはら産業創造センターSIC 代表取締役 (欠席)
森 恭子	全日制サポーターズ会長
安齋 明子	定時制後援会代表
森本 信夫	文京中央自治会会長 (代理)

#### 学校職員

居石 博幸	副校長
福田 浩之	教頭 (全日制)
佐藤 弘之	教頭 (定時制) (欠席)
岸 慶郎	事務長

#### 全日制

相場 昌晴	総合企画推進グループ
横尾 修介	教育課程グループ
小泉 学	健康相談グループ
藤塚 久雄	生徒活動グループ
池山 弘司	進路ガイダンスグループ
伊藤 豊	連携広報グループ
野木 泰宏	総務管理グループ (代理)
森本 穰	連携広報グループ (記録) (代理)

#### 定時制

萩原 益弘	学事グループ
樋口 順亮	生活指導グループ
佐藤 昌和	生徒支援グループ
諏訪部 悟	管理グループ (代理)

## 1 出席者紹介

出席者の紹介と自己紹介

## 2 会長挨拶

第2回の学校運営協議会（コミュニティ・スクール）ということで、どうぞ皆様の忌憚のないご意見で学校を推進していこうと思っておりますので、ご協力も合わせてよろしくお願いいたします。

## 3 第1回学校運営協議会の意見聴取（質問）と回答について

（副校長）

**資料1**（p. 3～4）の通り

第1回学校運営協議会で挙げた意見聴取やご意見については打合せ記録として各委員へ郵送や学校ホームページに掲載しているが、その後変わったところを紹介する。

（●：学校運営協議会委員、○：学校職員、（定）：定時制回答）

(1) 教育課程の編成に関すること。

●教員の負担が重いのではないかと。

○学校長より3つの課題に取り組んでいるという話の中の1つに、4限目の終了時間が16時55分というところの時間設定が生徒および教職員にとって負担であることがあった。これについてはPT（プロジェクト・チーム）を立ち上げて前期検証し、後期は現在4限目終了時間が16時30分となっている。これにより授業の量と質の確保、特別活動の充実については改善している。ただし、平成30年度に向けて取り組んでいる課題もあるため、今後もPT等で継続して検討していく予定である。

●生徒の履修科目数の上限は設けているのか。

○前回の議事録では34時間としか載っていなかったが、単位制の選択履修の幅の中で生徒が取れる授業のコマ数の上限があり、1年次、2年次、3年次で時間数が違う。

(2) その他

●全日制のキャリア教育はどんな取組みをしているか。定時制のさがみはら若者サポートステーション等との連携はどのように行っているのか。

○1年次では企業訪問による職業観・就業感の醸成を図るとともに、高大連携の夏季集中講座やインターンシップ等を企画運営しキャリア教育を推進している。

○（定）中途退学者に対して、本校以外にも就職支援等について相談できる機関として紹介している。

○（定）職員の生徒支援に係る研修会に講師として参加していただいた。

●SSHの指定が終わり予算が縮小されたのではないかと。事業費の内訳はどうなっているのか。

○現在、中高生のための科学技術推進プログラム（JST）の事業費が一部SSHの代替予算となっている。

#### 4 平成 29 年度前期の取組みについて（各グループリーダーより）

##### (1) 全日制 進路ガイダンスグループ

資料 2 (p. 5～6) の通り

公募制推薦入試受験希望者数は 37 人。

学校を通してのインターンシップ等参加者は 30 人弱。ほとんどが看護実習である。

##### (2) 全日制 健康相談グループ

資料 3 (p. 7) の通り

10 月に行われた薬物乱用防止講演会は、本校では健康を損なうという観点で行なった。

11 月に行われた性教育講演会は、例年は性感染症についてであったが、今年度はデート DV について行い好評だった。

##### (3) 全日制 生徒活動グループ

資料 4 (p. 8～12) の通り

12 月 26 日 (火) に相模女子大学グリーンホールにて芸術鑑賞会を行う。座席にはまだ余裕があるので、興味がありましたら是非お越しいただきご覧いただければと思う。

##### (4) 全日制 連携広報グループ

資料 5 (p. 13～14) の通り

小学校科学技術体験教室は例年だと 1 校だけだったが、今年度は 3 校実施している。小学校の 1 学年の児童を全員引き受けて、本校に招き、総合的な学習の時間の一部ということで実施している。毎回 100 名程度の児童が参加している。

現在、来年度に向けて学校案内の作成やホームページのリニューアルを考えている。

##### (5) 全日制 教育課程グループ

資料 6 (p. 15～18) の通り

履修指導をする上での流れはどうなっているのかという質問が昨年度挙がっていたので資料 6 に示す。

6 月に 2・3 年次生徒と教職員を対象とした「半期単位認定制、100 分授業に関するアンケート」を実施した。生徒からの結果を見ると「集中が続かない」「大変である」といった意見が多かったが、90 分授業でこのアンケートを実施しても同じ結果が出たのではないかと想定される。また、実習系の授業では「理解しやすくなった」という意見もあった。半期単位認定制（セメスター制）については、生徒・教職員ともに教室での授業は厳しいと感じている。一方で実習系の授業では週に 2 回実施となるので指導を継続しやすい、振り返って復習しやすいので作業をスムーズに行うことができている。

12 月には第 2 回のアンケートを生徒・教職員を対象に実施する予定である。職員の回答数が第 1 回目では少なかったため、次回は当事者意識をしっかりと持ってアンケートに回答してもらえよう対応していく。

また、今回のアンケート結果を踏まえて、平成 31 年度では座学の授業の 100 分を 50 分・50 分に分けることができるかをグループとしては検討中である。

(6) 全日制 総務管理グループ

資料 7 (p. 19) の通り

毎朝の職員打合せの記録や年間・月間の行事予定表の作成、教育振興費の管理を行っている。

(7) 全日制 総合企画推進グループ

資料 8 (p. 20～21) の通り

LCT 研修旅行事業については、従来 SSH で実施していた研修内容が復活しているコースもある。

(8) 定時制 学事グループ

資料 9 (p. 22～23) の通り

社会人聴講生について今年度は英語会話を 1 名、基礎から学ぶ電気工事を 2 名受講している。英語会話は通年だが、基礎から学ぶ電気工事は前期のみの科目で 1 名が修了している。

(9) 定時制 管理グループ

資料 10 (p. 24) の通り

食育の観点から食堂試食会を実施した。15 時 45 分から提供している夕食を体験していただいた。

(10) 定時制 生徒支援グループ

資料 11 (p. 25) の通り

進路指導に関しては年次・グループでの指導が難しい状況もあるため、年次・担任・部活動の顧問を含めて生徒一人ひとりに関わっている教員が丁寧に指導している。

(11) 定時制 生活指導グループ

資料 12 (p. 26) の通り

講演会・交通安全キャンペーンの実施については、相模原市の方々、交通安全協会の方々等のご協力のおかげで無事に実施することができた。

## 5 本校の現状と課題について

(副校長)

資料 13 (p. 27～28) 資料 14 (p. 29～30) の通り

3 月 1 日の第 3 回学校運営協議会のほうで皆様の御意見をまとめさせていただいて、今年度の最終報告書を作成することになっている。資料は第 1 回と同じであるのでご覧いただき、またご協力をお願いします。

## 6 意見聴取（●：学校運営協議会委員、○：学校職員）

### (1) 平成 29 年度前期の取組みについて（全日制 健康相談グループ）

- 教員に対するハラスメント教育の研修は行っているのか。
- 職員会議後に不祥事防止という形で研修を行っている。

### (2) 平成 29 年度前期の取組みについて（全日制 教育課程グループ）

- セメスター制にして教員のメリット・デメリットはあるか。
- 3年次に関しては前期のうちに1年分の授業が終わるので、入試対策の時期に演習ができるため有利となっている。次回にはトータルで資料を整え、お示しする。

### (3) 進路に関して

- 教職員の中で生徒の進路に関する指標というものはあるのか。
- 最初の段階で生徒に調査している。ほとんどが希望している通りに進路実現している。目標設定に関しては年次によってカラーが違うため難しい。無理に設定しても問題があると思い、現在のところ目標設定はしていない。
- 生徒の希望に合わせて進路指導をしているということだが、生徒によっては遠慮気味の子もいると思うので、もう少し頑張ってくれればという生徒を見極めてもらい、丁寧に指導していただければと思う。
- 進学予備校とは連携しているか。
- ベネッセの模試や研修を利用している。他はない。
- 塾等に通っている生徒は何人いるか。
- 把握していない。

### (4) 広報活動について

- この学校にしかないことをアピールしたほうがいいのではないか。
- 本校らしさをどうアピールしたらいいかを今後検討していく。

## 7 その他

### (1) 文京自治会より

7月15日（土） 七夕祭り

例年は模擬店の販売の応援を生徒にしてもらっていたが、今年は他の行事と重なってしまい参加してもらえなかった。地域住民の方との交流の場となっているので是非来年は参加してもらいたい。

9月13日（水） 第15回生徒研究発表会

自治会の会長含め何人かで観覧させていただいた。生徒が非常に熱心に課題に取り組んでいた。

9月30日（土）、10月1日（日） 本校の文化祭にて作品のブース展示

自治会メンバーが特許を取った歯の医療器具を展示した。

10月27日（金） 学校へ行こう週間（定時制）

Ⅱ限目に会長夫妻が3つの授業を見学した。

11月4日（土） 第11回文京集会所ふれあい祭り

大道芸部とジャズバンド部に参加してもらい、祭を盛り上げてくれた。

11月18日（土） 大野南中学校にて地区の防災訓練

12月中旬 地区の防犯パトロール

12月17日（日） ジャズバンド部のコンサート

自治会でも宣伝し、都合が付けば参加するように促すつもりである。

1月頃 相模原の南消防署員の方を招いて防災訓練

## (2) 相模原市経済部より

相模原市内の中小企業は人手不足である。是非就職を考える際は相模原市内の中小企業に目を向けてほしいと思う。

第15回生徒研究発表会を初めて見させていただいたが、英語で説明されているのを見て、この学校は理数系だけでなく英語も堪能であるというのが分かり、本当に素晴らしい学校だと感じた。

## (3) 定時制後援会より

定時制は落ちこぼれや退学者が多いというイメージがあるが、この資料を見る限り本校は少ないと感じる。生徒たちがこのままではいけないと思い始めているのではないかと痛感している。今後ともご指導をお願いしたい。

## (4) 全日制サポーターズより

この学校の一番の魅力は、これから時代は変わっていくと思っているので、自分で考えて進んでいくアクティブ・ラーニングはとても良いと思っている。ただアクティブ・ラーニングの良いところがまだ見えていない気がする。この学校を卒業したら、臆することなく自己肯定感を高めたままやっていける、自分の未来は自分で勝ち取れるような、これからの時代に合った学校になってくれるよう、今後とも宜しくをお願いしたい。

## (5) 今後の予定

3月1日（木）14:00～15:30 会議室にて 第3回学校運営協議会